

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	住民グループ支援事業	2-30
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	3
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	保健福祉部高齢者支援課	直通電話	72-6121
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	沢田 茂明
		担当者	森本 栄樹

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	高齢者に対し、身近に集う場を設けて様々な事業を展開する町内会や地域ボランティア等の団体を支援する。		
(2)事業開始年度	平成19年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康でしあわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	社会参加の促進	
	施策コード	20202	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	高齢者の社会的孤独感の解消や自立生活の支援など介護予防の推進を図るため。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	65歳以上のひとり暮らし又は虚弱のため家に閉じこもりがちな高齢者とその家族が、高齢者のふれあいサロンに参加できるようにする。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	集会所又は民家などの気軽に立ち寄れる施設において、月1回以上定期的に、利用者が興味関心を持つ事業(茶話会、レクリエーション、趣味教養講座、介護教室、世代間交流、講演会、会食など)を実施する町内会や地域のボランティア等の団体に対し、その事業費の一部を交付する。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	
(6)事業の立案や実施における協働の視点	地域が主体的に運営している。

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)			220	1,800
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	0	0	897	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	0	0	1,117	
事務に従事した正職員延べ人数			0.10	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)												
収入	区分	H17	H18	H19	H20予算	支出	区分	H17	H18	H19	H20予算	
	市補助金等(A)											
	計(B) (A/B)	0	0	0	0			計	0	0	0	0

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
開催地区数(数)	目標値			未設定	未設定
	実績値			1	
	達成率			-	
開催延回数(開催地区数×開催回数)(回)	目標値			未設定	未設定
	実績値			12	
	達成率			-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
参加延人数(名)	目標値			未設定	未設定
	実績値			157	
	達成率			-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか 1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	イ 成果 事業の成果は目標を達成しているか 1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
(2) 効率性			ウ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か 1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	(1)~(4)の評価ポイント合計 総合評価の参考にしてください。
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	
(3) 公平性			7~11 A or B
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	12~15 B or C
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	16~21 D or E
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	14

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		閉じこもり予防や社会的孤独感の解消などの介護予防効果が期待できる事業であるが、開催地区が1地区のみであり、開催地区の拡大を図っていく必要がある。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		開催地区の拡大に向け、今後、関係団体等への働きかけなど積極的に行っていく。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向	*	
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		高齢者が閉じこもりや孤独にならないように支援する地域システムづくりは重要ではあるが、まだ、開始初年度であり、市内全域に展開できていない。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		定期的な開催に向けた担い手の課題もあるが、広く事業が浸透するように、関係機関への働きかけを行う。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
開催地区、開催回数の増加を図る。			